

	<ul style="list-style-type: none"> ・岩倉市の公共交通についての運行方法の比較（資料3） ・デマンド型乗合タクシー改善方策について（資料4） ・巡回バス運行経路想定（参考資料） ・第2回岩倉市地域公共交通会議議事要旨（参考資料） ・現状分析を踏まえた課題整理と対応方向について（参考資料）
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	4名
その他の事項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）
<p>1 開会</p>
<p>2 報告事項</p> <p>（1）岩倉市デマンド型乗合タクシーの実績報告について</p> <p>資料2について、小崎統括主査から説明</p> <p>磯部会長：説明に対してご質問や意見はあるか。</p> <p>磯部会長：無いようなので次の協議事項に移る。</p>
<p>3 協議事項</p> <p>（1）デマンド型乗合タクシー改善方策について</p> <p>資料3、資料4について、小出統括主査から説明</p> <p>磯部会長：市としてデマンド型乗合タクシーの改善方策について、資料3、4の説明をいただいた。どのような協議事項とするか再確認したい。</p> <p>事務局：岩倉市の公共交通についての運行方法の比較をお示ししたが、この方向性について賛同いただけるかを確認したい。普通タクシーへの転換には新たな許可は必要ではないが、方向性を地域公共交通会議として理解できるかを協議事項としてもらいたい。</p> <p>磯部会長：資料3で比較し、資料4で普通タクシーに転換してよいか、という説明をもらったがこれについて協議をいただきたい。</p> <p>平井代理：3点確認したい。そもそも運行目的をどのように考えるか整理をしたい。案の普通タクシーには利用に関する制限があるが、目的が明確でないと市民からの要望により制限が少なくなっていく、他の交通事業に対する影響が出るのが懸念される。</p> <p>一般タクシーの事業範囲では、相乗・乗合ではないので、二人で利用しても1輸送300円となるが市としては問題がないか。費用について、利用規模によって変動することになる。</p> <p>また、デマンド型乗合タクシーは1事業者で実施しているが、岩倉市内には複数のタクシー事業者がある。普通タクシー事業に転換するにあたって、市内を運行する全てのタクシー会社が制度の対象となることを想定しているの</p>

か。対象となるタクシー会社が多くなるほど空車に余裕もでき、制度を利用しやすくなる一方で事業費の拡大が懸念されるが問題はないか。

事務局：運行目的については、高齢者、障がい者、子育て世代の外出・移動支援を目的とする。デマンド型乗合タクシーの改善において目的は変えない。

料金について、詳細は検討中だが1乗車1輸送300円で想定している。

タクシー事業者は主に2社が運行している。1社に限定しない。

利用見通しは拡大すると想定するが、デマンドの実績をベースに検討した。

利便性が高まるので、2倍まで想定。事業費は3倍になっても現在の事業費から大幅な増額になる見込みではない。

平井代理：江南市を参考にしていたので、江南市の状況を確認してもらおうと良い。

タクシー事業者にも事前に確認してもらおうと良い。

松浦委員：デマンド型乗合タクシーを運行してきた立場ではあるが、これまでの状況から転換は仕方がないかなと思う。

岩倉市では、名鉄タクシーと尾張タクシーが主に運行しているが、朝の忙しい時間帯にタクシー事業者はこの制度に対応できるのか疑問がある。タクシー業界は乗務員不足という状況もあるし、電話対応等の事務処理も増える。予約が受けられないようであれば信用問題が生じる。タクシーの運転手は長距離利用を望む傾向にあり、乗務員の立場からすると市内に利用を限った制度は好まれないのではないかと懸念している。タクシー会社の立場を考慮しておきたい。

デマンド型乗合タクシーでは専用車両2台で対応するという考えで運行確保はできた。変更して、タクシー会社がニーズに対応した配車ができるか。

磯部会長：タクシーの供給ができるかどうかという課題があるとの意見がありました。

久留宮委員：運転手不足、忙しい時間帯の対応という点は指摘のとおり。前回の公共交通会議で事業者ヒアリング調査結果が報告されているが、名鉄西部交通としては運行内容でお客様を区別していない。予約の受けにくい時間もあり、それは午前中に重なるが、現状は2台の2回転の4台分の運行。ピーク時の倍の10台規模となっても、前日の予約であれば、体制を整えて対応できるとヒアリングの際には回答している。懸念が全くないわけではないが、想定できる範囲ではできると思う。

加えて、名鉄西部交通の営業体制は岩倉市だけでなく、他の地域も営業しているので、時間的な集中があっても車両の配分次第で対応できる。江南市でも今回岩倉市で考えているものと同じような制度があるが、予約の不成立はあまりない。現時点で岩倉市から事業を受注しているわけではないが、十分対応できるのではないかと懸念している。

赤堀委員：デマンド型乗合タクシーの課題が改善できることが望ましい。普通タクシー事業に転換しても雨降りの時は、予約不成立があるかもしれないが、現状の事業費1,500万円をベースに考えるのであれば、この転換は望ましいと思う。住民の足の確保について、継続してサービス提供をしていただくことが高齢者には必要。

太田委員：利用者側の、事業者側の立場で、それぞれ意見は異なるが、根本の福祉として考えると、デマンド型乗合タクシーの課題をタクシーで改善することは事業費で考えても、コンパクトな岩倉市の適性にあっている。

対象者は多いかもしれないが、実際に利用するのは本当に必要な人だけだと思うので良い話なのではないか。

磯部会長：デマンド型乗合タクシーの利用が伸びない理由は使いにくいことが主な原因ということで検討を始めたが、現行の制度で本当にいけないのか、改善の余地がないのか。一方の一般タクシーを活用するのであれば、タクシー事業者の協力をいただいでできるのか。タクシー事業者の立場で、移動距離、事業規模について、望ましいことなのか。

ここまでいただいた意見をふまえ、他にご意見や質問事項があるか。

吉岡委員：名鉄バス事業者の立場から発言する。路線バスは岩倉駅に乗り入れているが、バスと並行して移動する区間はどうか。1乗車あたり300円の料金設定が適切か。

事務局：これまでとの変更点として岩倉駅に直接乗り入れができることになる。これまでのデマンド型乗合タクシーの利用実績をみると、バス停までの乗り継ぎという利用はみられなかった。バス利用への影響について、どうなるか見通しは難しいが、市内利用に限定しているので大きな影響はないのではないかと思う。デマンド型乗合タクシーの導入の際の料金設定はバスとの競争を想定して300円とした経緯もある。

吉岡委員：バスとの役割分担については、今後も引き続き配慮いただきたい。

磯部会長：デマンド型乗合タクシーの利点については、専用車両を確保しているので、最低2台は確実にサービス提供ができる。新しい事業は、空き車両を活用し供給いただく。車両の確保は努力いただき対処する。複数のタクシー会社による対応になると利用者はどこに電話したらよいか。コールセンターを設けて1か所で対応するようになるのか。

一般のお客との区別はできそうであるが、区別の点で何かおこらないか。メーターの料金によるが基本300円で設定。遠い距離の利用者はお得感があるがよいか。岩倉市はあまり広くないないので問題がないか。

松浦委員：既存のデマンド型乗合タクシー利用者は新しい制度を利用する際に再度登録するのか。

事務局：運用を変更するため、制度の説明の必要性から再登録を念頭に置いている。

(2) 今後のスケジュールについて

今後のスケジュールについて、小出統括主査から説明

磯部会長：スケジュールについて、今の仕組みから10月に変更する計画とのこと。現状の仕組みをやめる方向で整理ができれば、市議会の予算反映を進めていくことになるかと思う。

今回の地域公共交通会議は、方向性について確認をしておくことが協議事項

となる。事務局から示された普通タクシーへの転換について継続して作業を進めていただくことについて、承認よろしいでしょうか。

<異議なし>

磯部会長：ありがとうございます。新しい方向性で進めるようまとめさせていただく。

4 その他

事務局：次回会議日程は2月18日午前10時から予定する。次回会議で、細かな制度設計を提示し、協議を進めたい。

市長：熱心なご議論ありがとうございました。ご意見ありがとうございます。地域公共交通について、地方自治体は、移動手段を確保することが必要である。岩倉市としては、高齢者や障がい者などの外出支援を目的として、移動できる環境を確保、達成できるよう進めて、福祉の向上を進めたい。経営的な観点からは、利用が増えるほど、行政の持ち出しが減るのが理想である。この仕組みは、利用が増えると市の負担も増えるのは悩ましいが、外出支援として、必要としている人に使ってもらうことが大切である。今日の段階では、料金設定を300円や500円でよいか、複数利用がある場合の設定など細かく設定しなければいけないと感じた。

さらに、ご要望、ご意見が皆さんからあれば、事務局にお願いしたい。次の会議までに検討、対応していきたい。本日はありがとうございました。

磯部会長：皆さんからご意見等何かあれば、事務局までお願いします。

以上を持ちまして、第3回岩倉市地域公共交通会議を終了します。

上記のとおり、岩倉市地域公共交通会議の経過及びその結果を明確にするために、この会議録を作成し、ここに署名します。

平成31年2月5日

岩倉市地域公共交通会議

会長

磯部友彦

